

# 第1回 介護・医療連携推進会議 議事録

日時	令和2年 3月 5日
場所	コロナ対策の為書面会議にて施行
参加者	利用者様ご家族 3名 九州鉄道記念病院 MSW 1名 北九州中央病院 MSW 1名 介護ぶらす 1名 地域包括支援センター小倉1 1名 町内会長 1名
検討議題	①サービス提供実績 ②事故報告 ③活動内容報告 ④自己評価*別紙参照 ⑤ご意見・まとめ

## ①サービス提供実績（令和元年7月～令和2年2月）

	R元.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月
利用者数(人)	42	43	42	42	42	44	42	44
(要介護度別(人))								
要介護1	8	8	9	9	8	8	9	9
要介護2	5	5	6	6	6	6	6	6
要介護3	7	7	7	8	9	11	11	12
要介護4	16	17	14	13	14	14	12	14
要介護5	6	6	6	6	5	5	4	3
定期巡回 月間訪問回数	3270	3528	3449	3671	3800	3536	3870	3808
介護	2557	2753	2653	2648	3116	2797	3119	3097
看護	713	775	796	1023	684	739	751	711
随時対応 訪問回数	35	31	25	23	45	50	24	23
介護	17	9	13	15	15	11	6	3
看護	18	22	12	8	30	39	18	20
1日平均訪問回数	107	115	116	119	128	116	126	132

## ②事故報告

	R元.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2.1月	2月
転倒	2件	4件	7件	2件	4件	4件	4件	4件
怪我	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
無断外出	0件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件

### <対策>

- ・その都度ケアマネージャーへ連絡し、センサーマットの導入や、離床センサーなどの導入を相談し対応。
- ・転倒リスク高い場合は抑制同意書を頂き、4点ベッド柵利用やミトンの着用を検討する。
- ・入口ドアのセンサーボタンを職員のみが使用できるように改修設置。

### ③活動内容報告

#### \* 消防訓練

(1) 令和元年11月20日(水)

参加人数:職員 20名 入居者:18名

日中厨房より出火の想定で実施

(2) 令和2年3月18日(水)

参加人数:職員 5名 入居者:10名

夜間2階倉庫より出火の想定で実施

#### \* 研修参加 (R元年7月~R2年2月)

介護職員(常勤)8名:各職員1回/半年 外部研修参加

その後施設内にて伝達研修実施

看護職員(常勤)9名:7名の職員が1~2回外部研修参加

その後施設内にて伝達研修実施

#### \* 安全衛生委員会 毎月1回実施

・感染症対策マニュアルの見直し

・新型コロナウイルスへの対応

### ④自己評価 \* 別紙参照

### ⑤ご意見・まとめ

(1) 巡回ステーションつむぎ 自己評価について

- ・できている事とできていない点が明白に自己評価できていた。
- ・北九州市では数が少ないサービス事業内容のため、運営経験を積んで地域への広報活動をしっかり行い地域密着型の役割を果たしてほしい。
- ・具体的な問題点と対策法の表記がなく理解がしにくい。
- ・ケアマネージャーへの連絡はこまめに行えていると思う。
- ・「できていない」ことに対しては利用者主体で早急に改善して欲しい。
- ・職員間での情報共有ができています。

(2) サービス提供実績報告について

- ・訪問回数や利用者数などの基準が分からず評価が難しい。
- ・利用者の状態に応じて対応し、随時対応もしっかり行えているので良い。
- ・要介護度の高い方が多く、介護看護のニーズの高さを感じる。
- ・1日の訪問回数が多く人材確保の大変さを感じる。

(3) 事故報告について

- ・怪我に至るまでの事故がほとんど起きていないので対策がきちんと取られていると感じる。
- ・転倒が毎日起きていることに驚いた。転倒防止の対策をしっかりと行う必要がある。
- ・事故防止のヒヤリハットやインシデント報告書の分析が必要。
- ・事故に対してどのような対策をしたか詳細が知りたかった。
- ・入口ドアのセンサーボタン導入は防犯の面からも安心できた。
- ・転倒を防ぐための行動制限は本人の尊厳を奪ってしまうものであり、リスクとの兼ね合いが難しい為、今後会議を繰り返すことで改善されていくのではないかと。

(4) 活動状況について

- ・不審者の対応や地震などの訓練が必要ではないか。
- ・研修参加人数や割合を知りたい。
- ・消防訓練が夜間体制で行われている事は良い。
- ・外部研修への参加だけでなく、施設内での伝達講習もしっかり行っている事はとても良い。